
Planning Lecture (Open to public) | Special Session | Special Session 2

[SS02]Summary of AESJ 5 years activities and issues to be solved for the Fukushima Daiichi Accident

Chair: Yasuo Komano (MHI NS Eng.)

Sat. Mar 26, 2016 1:00 PM - 5:55 PM Room P (Lecture Rooms C C200)

[SS0204](7)Panel discussions "What are issues to be solved? "

Takashi Sugano¹, Hiroko Yoshida², Sae Ochi³, Hiroshi Kainuma⁴, Hiroshi Uetsuka⁵, Naoto Sakimura⁶, Nobuaki Sato², Noriko Asanuma⁷ (1. JA New Fukushima, 2. Tohoku Univ., 3. Soma Central Hospital, 4. Fukushima Univ., 5. President of AESJ, JAEA, 6. Univ. of Tokyo, 7. Tokai Univ., 8. JNFL)

本年会は東電福島事故から5年を経た節目にあたる。学会として、東電福島事故にどのように向き合い、取り組んできたか、原子力利用の安全性向上を目指し今後どのように取り組むべきか、今一度考える機会として、本特別セッションを企画した。本セッションでは、先ず、学会のこれまでの取組みについて概要を説明し、個々の具体的な取組みを課題（反省）も含め紹介する。更にパネルディスカッションでは、福島で活動されている方々から忌憚のないご意見をいただき、福島が抱えている問題を聴講者と共有したい。本セッションが各分野で取り組んできた福島事故関連活動に対して、横串を刺したような情報交換、今後の課題提起の場となることを期待する。